



<校長室だより>

令和6年4月25日

NO. 1

豊橋市立福岡小学校長
山田浩一

ごあいさつ

今回の人事異動により、福岡小学校の校長に着任いたしました、山田浩一（やまだこういち）です。実は、22年前の平成10年度から4年間、本校に在籍していました。その間5→6→5→6（年生）を担当し、和太鼓クラブやバスケットボール部などの担当もしました。当時は、地域の方々にもとてもよくしていただき、大好きな学校でしたので、今回のご縁にとっても感謝しています。

これまで、天伯小、豊橋聾、福岡小、愛教大附属特支、岩田小、下地小、豊橋市教委、愛教大教職大学院、鷹丘小で勤務しました。残念ながら中学校の経験はありませんが、小学校では2年生、4年生以外の担任を務めました。特別支援学校や特別支援学級の担任経験もあります。

今回、かつての教え子やご一緒した保護者の方、地域の方と再会し、改めて福岡校区の温かさと優しさを実感しました。そして、あの当時と何ら変わらない地域の絆を再認識しました。

もとより微力ですが、子どもたちの幸せのために精いっぱいがんばります。よろしくお願いいたします。

入学式・始業式でスタート

1年生は4月4日（木）の入学式、他の学年は4月5日（金）始業式が令和6年度のスタートとなりました。99名のかわいい1年生を迎え、全校児童602名です。

入学式では、校長やPTAの方の言葉に元気よくお礼を言ったり、教室から式場へ指示を守って移動したりするなど立派な1年生の姿が見られました。また、6年生が前日準備ですすんで仕事を引き受ける姿、当日は優しく1年生をリードする姿に感心しました。

始業式では、新しい担任の紹介をするとき、拍手をする場面があり、とても和やかな雰囲気となりました。その後、代表児童の2年：村田鈴佳さん、4年：山口真愛さん、6年：小山晃幹さんがそれぞれ発表しました。どの子も具体的で気持ちのこもったすばらしい発表でした。



退任式でお礼の気持ちを伝えました

4月15日（月）、本校を退任された先生方にお礼の気持ちを伝える退任式を行いました。代表児童がお礼の手紙や花束をプレゼントした後、それぞれの先生から子どもたちへのメッセージがありました。多くの先生方から優しく元氣な子どもたちのことを話題にしてもらいました。

次ページへ続く



お世話になった方にお礼の気持ちを伝え、おもてなしをすることで相手から喜んでもらえるという経験は、心を育てる意味でとても貴重なものと考えます。退任式は、なくしてはいけない学校文化の1つです。



退任者氏名	転勤先	勤務年数
大塚 雅史	二川中（通級指導）	4
北村 明子	小沢小	2
杉浦 和香	高師小	8
津田 彩乃	退職	9
伊藤 友里	豊岡中	3
鎌田 早織	作野小（安城）	3
山本 直子	退職	4
伊丹 和彦	津田小	1
中村 慶子	多米小（初任指導）	1
小山 一茂	吉田方小	5
河辺 峻皓	大崎小	1

教育目標と本年度の重点努力目標

1 本校の教育目標

「明るく元気な活力ある福岡の子」

- ㊦ 深く考え、学ぶ子
- ㊧ 工夫して元気に活動する子
- ㊨ 思いやりと感謝のもてる子
- ㊩ からだをきたえ、ねばり強い子

2 本年度の重点努力目標

＜本年度のスローガン＞ **大好き福岡！ ～笑顔いっぱい・がんばりいっぱい～**

子どもの笑顔をいっぱい引き出し、子どものがんばりをいっぱい引き出すことで、一人一人の子どもが輝き、学校（地域）のことが大好きと思えるよう、教職員が子どもたちに寄り添う姿勢で一丸となって取り組む。

① 日々の授業の充実を図り、個に応じた「確かな学力」の育成に努める。

- ・ 学ぶ楽しさと「ときめき」のある授業（座学から参加型へ、問題解決的な授業）
- ・ わかる授業の工夫と基礎基本の定着（日々の授業改善、タブレットの有効活用）
- ・ 個の学びへのていねいな支援（個を生かす授業、見取りの工夫）

② 命の尊さに対する意識の向上を図り、互いを認め合う温かな学級・学年経営に努める。

- ・ 命の尊さ、人権に対する意識を高める取り組み（避難訓練、道徳授業の工夫）
- ・ 互いを認め合う活動の工夫と継続的な取り組み（学級活動の工夫、異年齢集団活動の工夫）
- ・ いじめや不登校の未然防止への取り組み（複数での見取り、早期発見・早期対応）

③ 小中一貫教育をふまえ、家庭及び地域との連携のもと、開かれた学校づくりに努める。

- ・ 150周年事業をきっかけとした、校区を愛し、誇りがもてる郷土学習の推進
- ・ 子どもの育ちを基軸に系統性を重視した小中一貫教育（南部中学校との連携）
- ・ あいさつの響く学校（地域）をめざした取り組みの推進（地域と協働した挨拶運動）
- ・ 積極的かつ迅速正確な情報の発信と受信（学校HP・学校だより、学校評価活用の工夫）

④ 教育公務員としての自覚を高め、信頼される教職員集団の育成に努める。

- ・ 力量向上のための取り組み（公開授業、現職研修の工夫、OJTを生かした勉強会）
- ・ 教職員の誇りと自覚の醸成（不祥事撲滅のための取り組み）